

授業概要

本講義では、経営戦略の視点から日本企業の現状と課題について明らかにすることにより、日本企業ならではの経営方法である日本経営論について、その姿を明らかにしていきたい。

授業計画

第 1 回	ガイダンス、日本企業経営の特徴
第 2 回	日本企業の経営戦略
第 3 回	日本企業のドメイン
第 4 回	日本企業における業界分析
第 5 回	日本企業における基本戦略（マイケル・ポーター理論から）
第 6 回	日本企業における価値連鎖（バリュー・チェーン）
第 7 回	日本企業における資源ベース・アプローチ
第 8 回	日本企業における学習アプローチ
第 9 回	日本企業における SWOT 分析
第 10 回	日本企業における成長戦略
第 11 回	日本企業における市場地位ごとの戦略
第 12 回	日本企業における製品ライフサイクル
第 13 回	日本企業におけるプロダクト・ポートフォリオ・マネジメント
第 14 回	日本企業における新事業創造
第 15 回	日本企業における企業戦略・競争戦略・機能別戦略
第 16 回	

到達目標

経済のグローバル化と知識基盤社会における地域経済の活性化に対応するため、日本企業経営の学習を通して経営学、とりわけ経営戦略、経営組織、マーケティング領域の専門知識・技能を修得し、かつ自己で考え、判断し、論理的に表現できる能力を身につけること。

履修上の注意

- ・後列ばかりに固まらないこと（極端に後列に固まる場合は着席を分散させる）。
- ・安易にメールを使用せず何かあれば、対面で質問・確認してほしい。

予習・復習

予習：シラバスを見たうえで、各トピックに関する書籍を読み、自分なりに問題点を整理すること。
復習：講義中配布したプリントを読み込んでおくこと。講義に関わるニュースなどを調べ、理論と実態のつながりを自分なりに考えること。

評価方法

講義内において課すワーク 75点（1回5点×15回） レポート 25点

- ※ 60点以上の点数取得者を合格とする。但し、レポートの未提出者には単位を与えない。
- ※ 6回欠席した学生には単位を認定しない（発熱・コロナウイルスを理由にしての欠席は後日相談すること）。

遅刻は減点する（遅延証明書は回数制限付きで受領する）。スマホいじり、私語、内職は注意の上改まらない場合は減点する。

テキスト

指定しない。参考書は講義内で紹介する。